

2020年度 一般社団法人 菊池青年会議所

総務広報委員会

委員長 稲田 誉久

設置背景	菊池青年会議所は、明るい豊かな社会の実現に向けて活動していく中で、地域の人々を巻き込みながら運動を展開してきました。しかしながら、世の中の流れが変わるにつれて会員数は減少しており、この組織体の在り方を見直す転換期を迎えております。これからも地域の未来を切り拓き、時代を先ゆく地域団体として在り続けるには、この組織体の根源である会議を円滑に運営すると共に地域に向けて情報発信を行い、青年会議所の運動に対する関心を高め、会員を拡大する必要があります。また、LOMメンバーの成長の糧として、熊本ブロック協議会との連携及び同志である仲間との交流の機会を提供する必要があります。
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ■運営グループとして会員拡大活動を行い、会員拡大を実施すると共に定着率を向上させることを目的とします。 ■上程資料を精査し期日を厳守した資料配信を行い、円滑な会議運営を実施することを目的とします。 ■HPと広報誌による情報発信を行い、青年会議所の運動に対する関心を高め、地域の人々を巻き込むことを目的とします。 ■熊本会議及び熊本ブロック大会参加例会の実施において同志と出会う場を提供することで、LOMメンバーの成長へと繋げることを目的とします。 ■WEB会議を導入により時代の流れに沿った組織の変革を推進し、時代を先ゆく地域団体が在り続けることを目的とします。
活動概要	<ol style="list-style-type: none"> ①事務局と連携して会員拡大を行うと共に、新入会員に対する運営グループのフォローアップ体制を構築します。 ②会議ルールを厳守した資料配信を行います。 ③HPと広報誌を活用した情報発信を行います。 ④熊本会議参加例会及び熊本ブロック大会参加例会を実施します。 ⑤WEB会議の導入を推進します。
K G I	<ol style="list-style-type: none"> ①運営グループの会員拡大活動にて入会した新会員の退会者を出さず、定着率100%を達成します。 ②三役会及び理事会において五三ルールを厳守した円滑な会議を各12回以上開催します。 ③市役所・キクロス・郵便局を中心に菊池市内3箇所以上に広報誌を設置し、地域の人々が我々の活動を目にする場所づくりを行います。 ④熊本会議参加例会及び熊本ブロック大会参加例会へのアカデミーメンバーの出席率100%を達成します。 ⑤三役会において、WEB会議を3回以上導入します。
K S F	<ol style="list-style-type: none"> ①運営グループにて拡大候補者の情報を定期的に共有し、拡大候補者に対して複数名でアタックできる体制を整えます。 ②三役会・理事会にて次回開催日を周知し、計画的な委員会活動を行える環境を整えます。 ③地域の人々が多く訪れる場所を選定し、広報誌設置を設置します。 ④メンター制度を導入し、新会員の不安感を取り除くと共に熊本会議及び熊本ブロック大会のメリットを伝えます。 ⑤運営グループにてWEB会議のノウハウを学び、そのメリットを各委員会へ波及させます。
K P I	<ol style="list-style-type: none"> ①事務局と連携し運営グループとして拡大候補者をリストアップし、2名以上の会員拡大を行います。 ②三役会・理事会開催5日前に資料を取りまとめ、開催3日前に資料配信を行います。 ③地域の人々に青年会議所の活動を認知していただけるように、菊池市内3箇所以上に広報誌を設置します。 ④新入会員1名に対し、入会歴の長いメンバー1名をメンターとして配置しJC活動をサポートします。 ⑤運営グループにおいてWEB会議を5回以上導入します。
S D G s	【7、11、17】
政策手法	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の未来を切り拓くために、入会案内を本年度版に更新し会員拡大活動で活用すると共に入会後において例会や事業へ一緒に参加しながらJC活動について丁寧な説明をすることで、会員拡大と定着率を向上させます。 ②円滑な会議運営のために、会議開催5日前に三役会・理事会資料を取りまとめ精査し開催3日前に資料配信することで、会議ルールを厳守します。 ③地域からの関心を高めるために、HPを随時更新すると共に広報誌を年4回発行すると共に地域市民が多く訪れる場所(菊池市役所・キクロス・郵便局)に設置することで、地域からの認知度を向上させます。 ④アカデミーメンバーの自己成長のために、入会歴の長いメンバーにメンターを担っていただきながら熊本会議参加例会及び熊本ブロック大会参加例会を実施することで、JCのスケールメリットと新たな出会いを提供します。 ⑤時代を先ゆく地域団体が在り続けるために、WEB会議を導入することで、活動しやすい環境づくりを推進します。
パートナー	公益社団法人日本青年会議所 九州地区 熊本ブロック協議会